

● 診療科の特色

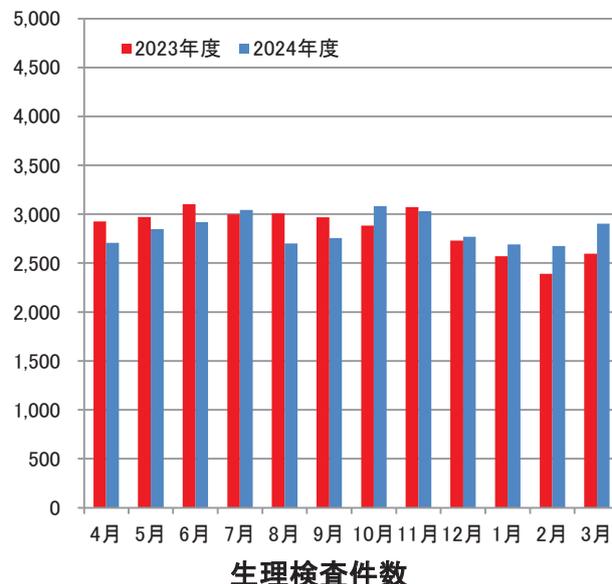
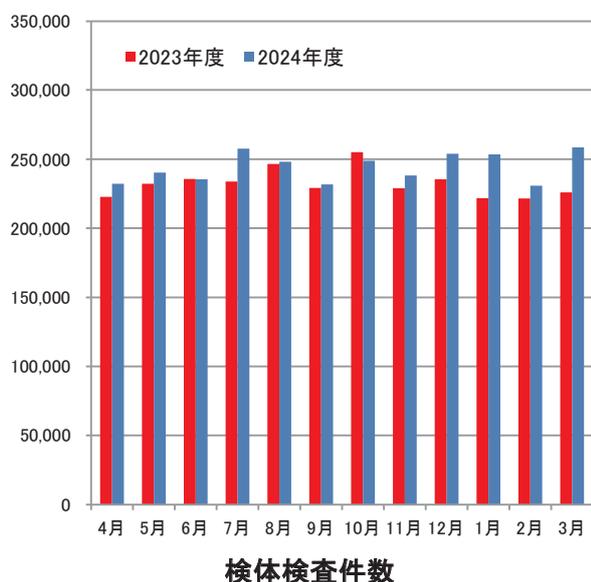
1. 常勤病理診断医:2名、非常勤病理診断医2名、常勤精度管理医師:1名
常勤臨床検査技師:28名 非常勤臨床検査技師:5名 検査助手:2名で検査業務を運営している。
2. 夜間帯は当直体制として24時間体制での検査体制を構築しており休日および時間外の緊急検査に対応している。
3. 臨床検査室の国際規格であるISO 15189の認定を2023年5月26日付で取得している。
4. 日本臓器移植ネットワークからの特定移植検査センター業務を輸血管理室で実施している。
(R6年度実績:脳死心停止ドナー検査15件、新規献腎移植登録者検査39件)
5. チーム医療に積極的に参加している。
(外来採血・NST・ICT・心臓カテーテル検査・がんゲノム検査など)

● 教育・研修活動

1. 毎月1回内科症例のCPCを実施(1~2症例)している。
2. 臨床検査科内で月1回以上の勉強会を実施している。
3. 岡山県の大学から実習生を受け入れている。2024年度は岡山理科大学より4名、倉敷芸術科学大学より1名の学生を受け入れ指導をした。
4. 初期研修医に対して臨床検査科実習を実施している。

● 2024年度の主な臨床検査科統計の概要

2024年度の検査件数は2023年度と比較し、検体検査で前年比104%、生理検査で98%となった。新型コロナウイルスが2023年に5類に移行してからも依然生理検査件数は伸び悩んでいる。



● 新型コロナウイルス検査

2023年5月8日に5類感染症に移行し、検査件数は2類の時よりは減少傾向である。2024年度は10,276件(2023年度:10,560件)と前年度と比べほぼ横ばいだった。現在はコロナ抗原定性検査が主体となっている。なお、LAMP法は2023年11月より測定を休止している。

● 2024 年度臨床検査科スタッフが取得した資格

- 認定輸血検査技師 1 名
- 超音波検査士(消化器) 1 名
- 緊急臨床検査士 3 名
- 2 級臨床検査士(血液) 1 名
- 2 級臨床検査士(微生物)1 名

● 2024 年度に臨床検査科が参加した主な外部精度管理

1. 日本臨床衛生検査技師会主催精度管理調査
実施時期:6 月初旬 結果: 8 月下旬
目的:他の精度管理では実施できない細菌、病理、生理検査などの精度管理
2. 日本医師会主催精度管理調査
実施時期:9 月初旬 結果: 2 月下旬
目的:項目は生化学、免疫、血液、一般検査の精度管理調査
3. 日本病理精度保証機構外部精度評価
実施時期:前期 10 月上旬、後期 11 月下旬 結果:3 月
目的:染色やバーチャルスライドの判定で精度維持・向上を行う精度管理
4. 日本臨床細胞学会 第10回コントロールサーベイ
実施時期:11月下旬 結果 3 月 (2年に一度参加)
5. 日本組織適合性学会主催 HLA-QC ワークショップ
実施時期:4 月中旬 結果: 9 月
目的:HLA 検査の精度維持
6. 岡山県臨床検査技師会主催クロスチェックサーベイ
実施時期:毎月下旬 結果: 翌月中旬
目的:岡山県下の施設間差を毎月モニターすることで、リアルタイムの施設間是正が行える

● 研究業績

論文

- 1) 村本 将太, 藤田 健太, 原田 侑香里, 大石 恭平, 新田 麻衣, 齋藤 真奈美, 生田 倅聖, 神農 陽子, 磯田 哲也, 佐藤 由美子, 井関 昭子, 谷口 香
膵管癌における Foamy gland pattern を示す細胞の診断意義と細胞学的特徴
岡山県臨床細胞学会誌,42,45-49,2024 年 12 月 25 日
- 2) 中川 智博, 平良 彩乃, 平岡 希実子, 乗船 政幸
抗 CD38 抗体薬偽陽性反応確認用 DTT 処理 ID-DiaCell の保存が有用であった抗 LW の 2 症例
医学検査,74,1,232-239,2025 年 1 月 25 日

学会

- 1) 膵管癌における Foamy gland pattern を示す細胞の診断意義と細胞学的特徴
村本 将太
第 44 回 岡山県臨床細胞学会 総会・学術集会 2024 年 7 月 6 日
- 2) 形質細胞増加及び血清 IgM を伴った血管免疫芽球性 T 細胞リンパ腫の一例
永田 啓代

- | | |
|---|------------------|
| 第 25 回 日本検査血液学会学術集会 | 2024 年 7 月 21 日 |
| 3) 急性動脈閉塞症の診断に ABI が有用であった一症例
佐野 好実
第 12 回 国臨協中国四国支部学会 | 2024 年 9 月 15 日 |
| 4) 白血球分類参照法変更を実施して
三宅 里奈
第 12 回 国臨協中国四国支部学会 | 2024 年 9 月 15 日 |
| 5) 全自動血液凝固装置 CS5100 を用いたコアグジェネシス PT の性能検証
永田 啓代
日本医療検査科学会第 56 回大会 | 2024 年 10 月 4 日 |
| 6) 中国四国グループ内施設の希望者を対象とした「目合わせの会」の活動報告
永田 啓代
第 78 回国立病院総合医学会 | 2024 年 10 月 18 日 |
| 7) IVIG 中の抗 A 抗体によりクロスマッチ不適合を呈した重症 ITP の 1 症例
中川 智博
第 78 回国立病院総合医学会 | 2024 年 10 月 18 日 |
| 8) 破骨型多核巨細胞を伴う退形成癌の一例
原田 侑香里
第 78 回国立病院総合医学会 | 2024 年 10 月 18 日 |
| 9) 尿蛋白結果が乖離した 2 例について
永田 啓代
第 57 回日臨技中四国支部医学検査学会 | 2024 年 11 月 2 日 |
| 10) コンピュータークロスマッチの院内効果について
中川 智博
第 57 回日臨技中四国支部医学検査学会 | 2024 年 11 月 2 日 |